

標茶町議会第4回定例会

一般質問通告一覧

平成30年11月29日

No. 1

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
4 番	深 見 迪	1. 保育料無料化の早期実現を	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町長は公約に幼稚園の入園料、保育料・保育所の保育料無料化について掲げたが、私も再三議会において子育て支援のため、保育料無料化あるいは軽減を訴えてきた立場として、あるいは町民アンケートの要望に応えることにもなり大いに歓迎したい。ぜひ早期実現を望むが町長の所見を伺う。 ・ 次にこれを実現するには、費用の投入はどのくらいと見込んでいるか。また、国が今後予定している幼児教育・保育の無償化の施策によって、無料化の町負担が少なくなっていくと考えるが、この点の見通しについても町長の所見を伺う。 ・ 早朝保育及び延長保育は、保護者の仕事や諸々の事情によって必要性があると認めて規則にも定められているが、この保育料についても同じ考え方で当然無料と考えてよいか。 ・ 無料化について、年齢制限、保護者の所得制限はないものと理解するがどうか。 	町長	
		2. 言語聴覚士の派遣要請で、必要な児童、生徒に指導の保障を	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年の9月議会で専門職の言語聴覚士による指導の確保について質問したが、町内の児童、生徒で言語聴覚士の指導が必要である子どもの実態をどのようにとらえているか。また、保護者が指導を受けさせるため、仕事を休んだり、重い経済的負担を余儀なくされ、疲弊しながらも努力している状況があるが、そのような実態もつかんでいるか伺う。 ・ 本人が住んでいる自治体で言語聴覚士がいない場合、他の自治体の病院等に派遣を要請し指導を頼んでいる自治体の例もあった。本町でもその要請をし、可能などころから必要な子に適切な指導の機会を持たせるべきと考えるがどうか。 	町長	
		3. 要介護・要支援認定者の「障害者控除」について、周知徹底を	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10年ほど前から、要介護・要支援認定者にも町長が認定し、障がい者控除を実施するようになった。直近の実績では何名が申請し、うち何名が控除を受けたか。 ・ 要介護・要支援認定者に対し、この様な制度があることをどのように周知しているか。 <p>現状では、この制度を知らないため申請をしないでいる要介護・要支援認定者がいるように思うがどうか。また、対象が限られていることから、要介護・要支援認定者すべての町民に申請書を配布し、新たな認定者も含めて制</p>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
			度があることを周知するべきと考えるがどうか。		
8番	渡邊定之	1. 胆振東部地震によりブラックアウトによる被害が起きたが、町としての積極的な対応と被害に対する支援策を	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブラックアウトによる被害調査は行われたと思うがその状況を伺う。とりわけ酪農家の生乳の生産に大きな影響が出た。本町は1400トン余りの生乳を廃棄したと聞いているが被害金額を含めて町の調査結果を伺う。 ・ また、他の商工業等にも影響があったと思うが、その調査結果についても伺う。 ・ 自家発電装置のないことで農家を始め商工業者、町民にも多くの影響が出た。この被害体験から農家では発電機を導入する戸数が増えると聞いているが、基幹産業を守るためにも、高価な発電機購入に対し町としても支援すべきではないか。 ・ 乳業会社に自家発電装置がなかったことにも驚きの声が上がったが、地元の乳業会社に今後の対応について申し入れをなどは行うべきではないか。 ・ 今回の停電の経験から、発電所の分散、発電設備の分散化が取り上げられているが、北電に対し申し入れを行うべきではないか。また、本町においてもバイオマス発電の設置計画等今後の見通しを伺う。 ・ 今度の経験から、災害マニュアル等について新たな項目等が必要になったと考えるが町長の所見を伺う。 	町長	
		2. 障がい者が安全に利用できるよう、酪農センター、公民館など公的施設的环境改善を	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の酪農センターや公民館等の公的施設を、障がい者、とりわけ車椅子等で利用する場合、施設的环境が非常に不便であり危険を伴うような実態がある。これらの実態について町長の認識と所見を伺う。また、調査を行うべきではないか。 ・ 施設内においても各部屋の戸が狭く、車椅子での移動には不便である。また施設によっては役場支所の窓口や出入り口が危険なところもある。早急に対策を講ずるべきと考えるがどうか。 ・ また障がい者用トイレや動線がかなり狭く、利用しづらいスペースになっていると考えるが改善すべきではないか。 	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
1 番	櫻 井 一 隆	1. 憩の家かや沼について伺いたい	・佐藤町長は(株)標茶町観光開発公社の筆頭株主である標茶町の代表にもなった訳であるが、釧路湿原国立公園内にある唯一の温泉施設「憩の家かや沼」の今後をどのようにすべきと思っているのか伺う。	町長	
		2. 医療及び老人福祉について伺いたい	・町立病院の運営方針はどのようにするのか、医療体制はこのままで良いのか、町長の公約に「特養サテライトでの活用、人工透析」を掲げているので町民は大いに期待をしている。具体的に示すべきと思うが。 ・軽費老人ホーム及びやすらぎ園の老朽化は進んでいる。またプライバシーを守る事も考えなければならないと思う。これらの対応は可及的速やかに実行すべきであると思うが考えを伺いたい。	町長	
		3. 現在、凍結状態にある、と畜・食肉加工場の建設はどのようにすべきと考えているか	・前町長の時に盛んに議論され町民の血税を使い調査までした「と畜・食肉加工場」だが、残念な結果を持って幕切れとなった。佐藤町長には凍結状態となったこの問題については公約にはないようだが根釧の酪農家の経営には必要であり、避けて通れない重要なことである。新しくなった町長の所見を伺いたい。	町長	
		4. 国道391号線のルルラン通りの案内標識の早期の設置を望む	・以前の定例会でも危険性を示し設置要望をしているが今は小さな立て看板が1枚あるだけで、まともな標識とは言い難い。正規の標識の速やかな設置をすべきと考えますが、関係機関との話し合いはどこまで進んでいるのか説明を求める。	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
11番	本多耕平	1. 中茶安別小中学校 駐車場整備について	<ul style="list-style-type: none"> 中茶安別小中学校は昭和4年開校以来約90年の歴史があり多くの生徒が社会に旅立っており地域発展の要となっております。しかし、近年の社会情勢の中近隣の小中学校は次々と統廃校となり本町の東部地域でいえば存在する小中学校は中茶安別のみとなっております。開校以来本校舎は数回の増改築そして防音事業、改造等を経て安心、安全で快適な校舎となっておりますが、駐車場の整備がなされていないといっても過言ではありません。今後の整備計画を伺います。 	教育長	
		2. たんぽぽ保育園周 辺舗装整備について	<ul style="list-style-type: none"> たんぽぽ保育園の前面そして駐車場の整備であります。昭和55年季節保育所から常設保育所が設置され35年余りが経過していますが指摘場所を早く舗装整備すべきと思うが所見を伺います。 	町長	
5番	黒沼俊幸	牛乳集荷道路の整備 が必要だが計画はどの ようになっているか	<ul style="list-style-type: none"> 町内の農道は集乳路線が整備され町内くまなく舗装され酪農振興に貢献してきている。標茶農協の統合の昭和50年には500戸を超える酪農家から集乳していた時代と今日では状況が変わってきている。現在は法人も含め180戸の酪農家に減少しているが年間15万6千tを維持している。ここで私道として扱われている未舗装道路を側溝のある畑より高く20tの集乳車が通行できる私道と言って舗装できない道路を改良舗装すべきと考えます。生産事業道路としての位置づけから集乳の効率化と貴重な牛乳が守られます。具体的には阿歴内地区4戸の路線と弥栄1戸が急がれます。中山間事業の協同取組で検討されてはどうか。 	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
2番	後藤 勲	町立病院内に眼科、 整形外科の新設を	<ul style="list-style-type: none"> 町民の高齢化が進み非常に多くの方が釧路の病院に通っているため、せめて週に1回か、月に何回かの診療が出来ないか。そのことにより手術をした後も薬だけの場合は、標茶でももらえとか、又、手術をされる時も医師の紹介状を発行してもらうことにより時間のロスが短縮され体にも交通にも負担がかからないためにも医師の確保を望む。 	町長	
6番	松下 哲也	1. 町立病院空きベッド 活用法は	<ul style="list-style-type: none"> 今回の町長選で町長は重点政策中、安全、安心な暮らしを守るという項目で町立病院空きベッドを特養サテライトでの活用を検討します。との公約を掲げております。 昨年9月定例会において厚生文教委員会所管事務調査で「病院の空きスペース」を活用したサテライト型小規模特養の設置に関しては地域包括システムの強化のための介護保険法の一部を改正する法律の施行により介護医療院の創設を含め検討を図るべきである。との中間報告書を出している。 2018年度の介護報酬改定で4月から「介護医療院」が新たに介護保険施設の枠組みとして創設され、要介護者を受け入れ長期療養やみとり、日常的な医療的ケアに対応し生活の場としての機能を重視するのが特徴で道内でも9月1日現在で4施設が開設されている。 多くの課題が検討されていると思うが、あくまで特養サテライトの方向でいくのか介護医療院も含めていくのか柔軟な対応が必要と思うが町長の所見を伺う。 	町長	
		2. 農畜産物加工センター の新築について	<ul style="list-style-type: none"> 3月定例会において「JAと連携し農畜産物加工センターの新築を」というテーマで一般質問をしましたが、町長の公約の中にもJAの加工センターの改修に支援、生乳プラントの整備を検討すると掲げている。平成元年にJAが建設した農畜産物加工センターは多くの町民に利用され食生活の改善、地域コミュニティの形成に大きな役割を果たしてきた。また、製造されたものは手軽な贈答品、町のPR用としても活用されている 	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
			<p>築30年近く経過し、明らかに老朽化が目立ち内部の機器も故障、修理等が増加し利用者に支障が出てきている。町としても積極的な対応をすべきと質問させて頂いた。答弁ではどのような支援が出来るか協議したい。となっているが、その後、どのような協議がされたか伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンについては経済団体と共有していると伺っているが新たな話題もあり、どう対応していくのか町長の所見を伺う。 		
3番	熊谷善行	1. 光ファイバーインターネット通信網の整備を	<ul style="list-style-type: none"> ・標茶町は、平成22年に光通信(Bフレッツ)や高速ブロードバンド(ADSL)で接続できない地域におけるインターネット接続のための無線LANインターネット環境を整備し運用を開始しました。 <p>現状は、本町の一部市街地は光通信が利用できますが、他の地域においてはNTTのADSLまたは無線LANインターネット環境によるADSL並みの通信環境です。</p> <p>本町の基幹産業である畜産酪農業では、酪農クラスター事業の推進により、搾乳ロボットの導入などにより搾乳時のデータがホストコンピューターに瞬時に送られ、データの受け渡しや閲覧等の相互通信が図られるなど、営農管理の近代化が進んでいます。しかし、現状のインターネット環境では通信速度の遅さや送受信データ容量の限界など、営農管理の近代化に追いついていけない状況があり、また、商工業・一般企業でも情報取得や情報発信において同様の状況が見られます。また、磯分内では、2年後の完成予定で雪印メグミルクの磯分内新工場の工事も着々と進められ、当然のごとく光ファイバーインターネット通信網は必要とされるものと考えます。</p> <p>将来の本町の産業発展のためには、光ファイバーインターネット通信網の整備は欠かせないと考えますが、所見を伺います。</p>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
		2. クリーンセンターで、産業廃棄物のリサイクル資源ゴミの受け入れを	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本町発注の建設工事や町内業者の施工する建設工事において排出されるゴミは、産業廃棄物として産業廃棄物処理業者のもとへ搬出廃棄されているものと理解しています。 しかし、廃棄されているゴミの中には、多くのリサイクル資源ゴミも含まれていると考えますが、それらのリサイクル資源ゴミをクリーンセンターで受け入れることにより、廃棄されるゴミの減量と環境負荷の低減、リサイクル資源ゴミの売り払い収入の増加につながると考えられますが、以下について伺います。 ① 本町発注の建設工事や町内業者の施工する建設工事において排出される産業廃棄物で、リサイクル資源ごみ等の分別がどのようになされているか実態を把握しているか。 ② クリーンセンターでは、建設工事等におけるリサイクル資源ゴミは受け入れをしているのか、受け入れをしているとすれば、その受け入れ範囲や内容について。 ③ クリーンセンターでの、リサイクル資源ゴミの売り払い状況と、平成29年度の売り払い金額は。 	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
		3. 流行が懸念される「風しん」対策は	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本年7月以降、関東地方を中心に風しん患者数が増加しています。風しんは、妊娠中の女性が感染すると生まれる子供に深刻な障害をもたらす可能性があり、感染防止に社会全体で早急に取り組むことが必要と考えます。本年10月15日に、本町のホームページでも「風しんにご注意ください」と情報発信がされています。 現状では、30代・40代・50代の男性の風しん患者が多く見られ、過去に予防接種を受けていない、あるいは一度しか受けていないことにより、免疫が弱いことがその要因と考えられます。 上記年代に関わらず、また、男性・女性に関わらず風しんに対する抗体価（免疫）の確認を行うべきと思いますが、その検査医療機関の情報を周知するとともに、その費用等について補助を行う考えはないか伺う。 	町長	
9番	鈴木裕美	1. 子育て支援として延長保育、日曜祝日保育、病児病後保育の実施について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10月2日付釧路新聞での町長の談話では子育て支援は町職員時代から実行したかったと述べられておりましたが、子どもを抱えながら就労する保護者は少ない。就労する保護者への支援として保育事業を実施していますが現在の事業内容では不十分です。そこで 1. 延長保育については早朝、お残り保育の時間延長が必要と考えます。現在の時間は延長するべきと考えますがいかがか。 2. 就労する保護者は必ずしも日曜、祝日が休みとは限らず子どもを預けるのに苦労していることが平成27年のアンケートの結果でも示されています。日曜、祝日の保育の実施をするべきと考えますが伺います。 3. 登園後の急な発熱等、また、病気治癒後経過期間等のためにも病児、病後保育の実施をするべきと考えますがいかがか。 	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
		2. 少子化対策として 妊婦加算に助成を	<ul style="list-style-type: none"> ・今年4月から妊婦と直接関係のない診療科を外来受診した際「妊婦加算」として初診750円、自己負担が3割の場合約230円、再診では380円、自己負担が3割の場合、約110円を負担することになりました。少子化対策が求められている中「妊婦加算」は逆行するとして大きな問題となっております。国の制度ですがこの妊婦加算分を町が負担してはと考えるかがか。 ・妊婦が診察を受ける際に診断に気を使うことは従来も同じで医師として特に変わったことをするのではない。妊婦だけに負担増を求めるのには納得がいくものではありません。ぜひ、この制度の廃止を求めるために各関係機関と連携し廃止の要請をするべきと考えるかがか。 	町長	